

IMJ NEWS LETTER

発行: 一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2 Email : info@imj.or.jp FAX : 03-3812-5167

「民主党統合医療を普及・促進する議員連盟」 参加報告

去る、平成23年7月20日（水）午前8時より衆議院議員第2議員会館第1会議室に於いて開催された「民主党統合医療を普及・促進する議員連盟（鳩山由紀夫会長）に渥美和彦理事長、川嶋みどり理事が招聘され、「統合医療の普及・促進」、並びに「東日本大震災被災者支援プロジェクト」に関する発表を行った。



山根隆治議連幹事長（民主党企業・団体対策委員長、参議院議員）が開催の趣旨を説明し、大島九州男議員の司会で開会した。

鳩山議連会長は開会の挨拶で「東日本大震災を経て、統合医療に対するニーズはますます高まっており、病気にならない生活は伝統的な日本の得意技とも言え、更なる普及と促進に全力で当たらねばならない」と述べた。



続いて、渥美理事長が「統合医療推進に不可欠な要件」「東日本大震災による医療の変化」と題する発表を行った。前者は、統合医療を用いた「持続可能な医療制度（エコ医療）」の早期立案・施行と喫緊の課題としては統合医療を標榜する団体・個人の「評価基準の策定」の重要性に言及した。後者では、東日本大震災が一つのきっかけとなって過度にエネルギーに依存する近代西洋医療の限界が明らかになった現実とエネルギーを浪

費しない『エコ医療』の可能性と重要性、国民ニーズ、更にはセルフ・ケア（セルフ・メディケーション）の重要性を説いた。

次に、立谷秀清(たちや・ひできよ)相馬市長から震災直後からの取り組みと課題に関する発表が行われ、「医・食・住・備（危機に備える）」の取り組みに言及し、復興・復旧に向けて国家としてのリーダーシップの重要性を訴えた。



続いて、川嶋みどり理事が「これからのケアプロジェクト」に関する説明を行い、次いで、石巻市を拠点とした「看護と介護の拠点」設置に向けた取り組みへの理解と協力を求めた。

これらの発表を受け、会議の終わりに山根隆治議連幹事長より「被災地における統合医療の実践現場視察」の提案がなされ、参加者全員の賛成で可及

的速やかに開催することが決定された。（※補：この視察に関するコーディネーションの一部を(社)日本統合医療学会が担うこととなった。）

参加した当学会関係者一同は、議連の新たなるスタートとも言える会議に参加する機会を与えて戴き、改めて統合医療の普及・発展が国民の幸せに直結しているとの思いを強くし、微力を尽くすことを確認し合った。

【文責：(社)日本統合医療学会事務局】